

太陽光パネルリサイクル

エヌ・ピー・シーが新装置

太陽電池の製造装置やバネル解体装置を製造・販売するエヌ・ピー・シーはこのほど、太陽光パネルリサイクル装置の新製品を9月1日より発売すると発表した。金属を含むセルシートを分離した後にカバーガラスに残ってしまうEVA（樹脂）を取り除く装置。ガラスの純度を高めて再資源化の向上を図る。使用済み太陽光パネルの廃棄量がピークを迎える前までにガラス分離装置と合わせて2000セットの国内販売を目指す。

ガラスの純度を向上

新発売する装置の名

粉は「EWANクリー
バー」。使用済み太陽光
パネルの中間処理工程

<p>新発売する装置の名 称は「EVAスクレ パー」。使用済み太陽光 パネルの中間処理工程 で、同社の独自技術で あるホットナイフ分離 法によるガラス分離装 置の後工程に加わる。</p>	<p>銅や銀などの有価金属 を含むゼル/EVAシ ートとガラスを分離し た後、ガラスに残存し てしまふ不純物のEV Aをさらに取り除く装 置となる。</p>	<p>してガラスを割らずに 表面に残存するEVA を除去。これによりガ ラスの純度をさらに高 め、ガラスを水平リサ イクルする際のガラス の価値向上につなが る。処理速度は前工程 のガラス分離装置と同 等の1枚当たり約60秒 と高速処理が可能。</p>
<p>特殊なフランを使用 する。</p>	<p>太陽光パネルの課題の一つにガ ラスの水平リサイクル がある。回収した太陽 光パネルのガラスを効</p>	<p>してガラスを割らずに 表面に残存するEVA を除去。これによりガ ラスの純度をさらに高 め、ガラスを水平リサ イクルする際のガラス の価値向上につなが る。処理速度は前工程 のガラス分離装置と同 等の1枚当たり約60秒 と高速処理が可能。</p>

ガラスを割らずに
に残存するEVA
云。これによりガ
ラスの純度をさらに高
率的に再資源化する
は、ガラスの再資源化
工程で不純物となる金
属など他の素材の混入

社のガラス分離装置は
ガラスを割らずに金属
などを含むセルシート

置と組合せることで水平リサイクル時のガラスの価値向上となり、サイクル性の大幅な上昇を実現できる。海外のガラスメーカーはすでに、同社のガラス分離装置で分離したガラスを有価で回収し2024年秋ごろから数百トナリサイクルしている。国内でもガ

ラスの再資源化と価値向上のため、ガラス分離装置と今回発売する装置で純度を高めたガラスの評価に取り組む方針だ。